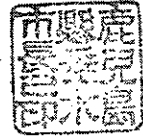


垂 土 第 282 号
平成20年10月16日

国土交通省道路局長 殿

垂水市長 水迫順一



今後の道路行政について意見・提案の提出について(回答)

標記の件について、別紙のとおり提出いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

鹿児島県垂水市

道路特定財源が一般財源化されることは、今後の地方行政にとって、先行きが見えず不安要素も多い、都市部においては、道路もほとんどが整備され、今後、維持的な事業となると思われるが、地方においては、まだまだ、幹線道路やそれとリンクする道路の未整備も多く、道路網の整備が急がれるが、財源不足から市民の要望にこたえきれないのが現状である。地方交付税等により道路特定の、かぎられた財源処置ができないか

○現状

地方行政にとって、財政事情は厳しく、行政改革の中、道路行政は重要な位置づけとなるが、現状はかなり厳しい状況にある。鹿児島県の大隅地方において、大隅縦貫道路とリンクする横断道路の整備や県都鹿児島市と結ぶ桜島架橋は、今後の大隅の発展にとって重要な位置づけとなる。

このこともう少し詳しく述べると、現状は当市より直線で約20Kmの鹿児島市や約30Kmの志布志港へは各々約1.5時間の状態である。

桜島架橋や大隅横断道が整備されると、遅れていた大隅半島の陸の孤島の時代から、大隅半島や鹿児島県はもとより、南九州一円の経済や産業に大きく貢献するものと考えます。

○課題

○大隅地方の国道や地方主要道は山間部の急峻な崖下を通る箇所が多く大雨や台風のたびに、どこかで災害がおき、通行止めも度々起こっている。このような地域性のなかで、安心・安全な道路の整備は大隅にとって、重要な課題であり、特に県都鹿児島市と結ぶ路線は必要不可欠である。

○現在の改良工事等補助事業導入における採択基準が厳しく、なかなか、事業導入が難しい状況にある。市民にとって道路整備の要望は多く、特に限界集落に等しいような箇所においては、車は必需品で道路事情の悪さが若者の地方離れに拍車をかけている。鉄道の廃止・バス路線の減少は地方の生活形態を大きく変えている。道路行政は欠かせない問題であり、財政力の弱い地方にとって国による地方への財政支援は必要性を増している。

安心・安全な市民生活をおくる為にも、道路行政の位置づけは重要であり、また、農林・水産・商工業の発展を支えるために産業交通として最も重要であり、輸送手段のない地方にとって交通手段としてなくてはならない足であり、県都鹿児島市や大都市とを結ぶ産業振興にとって必要不可欠なものが道路である。特に幹線道路を中心とした道路網の整備は、一次産業が益々グローバル化する中で石油高騰のおり農水産物の輸送コスト削減等、今後地方が生き残り、国の食料自給率UPためにも重要な課題である。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④

鹿児島県垂水市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上	高規格道路へ結ぶ幹線道路等、道路網の整備	輸送コストの削減及び時間の短縮	地方が力をつける
・総合的な交通安全対策及び危機管理の強化	幹線道路等の急カーブの緩和や市街地の道路側溝のオープン部分の解消。危険箇所の点検。	スピードの出しすぎなどによるセンターラインオーバー等での事故防止及び大雨時の道路冠水による歩行者の側溝転落事故防止。管理瑕疵の減少。	日常的な点検強化 点検による異常箇所の早期復旧
・少子・高齢社会に対応した子育て環境、バリアフリー社会の形成 : : :	歩道・車道の段差の完全解消	地方において狭い歩道・車道と歩道の段差のある道路が目立つ。体の不自由な人や高齢者・小児又は電動モーターや自転車等による通行の不便さの解消。	歩道内での事故防止